

証券コード：3360



**SHIP HEALTHCARE**

生命を守る人の環境づくり

**2026年3月期第2四半期  
(中間期)  
決算説明資料**

シップヘルスケアホールディングス株式会社

2025年11月14日

# 目次

グループ理念	.....	3
2026年3月期 第2四半期（中間期） 業績について	.....	4
下期の事業環境 通期見通し	.....	13
トピックス	.....	26
参考資料 < 中期経営計画 >	.....	30
参考資料 < 財務・資本戦略 >	.....	46

# SHIP

**Sincere**  
(誠実な心)

**Humanity**  
(「情」の心)

**Innovation**  
(革新者の気概)

**PartnerSHIP**  
(パートナーシップ精神)

グループミッション

2025年度 キーワード

## 生命を守る人の環境づくり

基本姿勢

し せい そく だつ  
至誠 惻 怛

## しつこく、とことん、 あきらめず

生命を守る人の環境づくり



**2026年3月期第2四半期（中間期）  
業績について**

# 財務ハイライト (連結)

	2025.3		2026.3							
	中間期 (実績)	通期 (実績)	中間期業績		中間期前期比		中間期計画比		通期計画	
(百万円)	中間期 (実績)	通期 (実績)	中間期 (計画)	中間期 (実績)	増減	増減率	増減	増減率	通期 (計画)	
売上高	310,032	678,229	315,000	333,385	+23,352	+7.5%	+18,385	+5.8%	700,000	
売上総利益	28,007	66,743	—	29,318	+1,311	+4.7%	—	—	—	
営業利益	7,743	24,779	8,000	8,179	+435	+5.6%	+179	+2.2%	26,000	
営業利益率	2.5%	3.7%	2.5%	2.5%					3.7%	
経常利益	8,414	26,023	8,500	8,722	+308	+3.7%	+222	+2.6%	26,500	
経常利益率	2.7%	3.8%	2.7%	2.6%					3.8%	
親会社株主に 帰属する中間 (当期)純利益	5,539	15,128	5,500	5,432	▲107	▲1.9%	▲67	▲1.2%	15,500	
1株当たり当期純利益	160.34円									166.85円
1株当たり配当金	58円									60円
連結配当性向	36.2%									36.0%

# 決算ハイライト

## 売上高

TPP

大型PJ案件が前期比で更に下期偏重見込みの中、計画通り計上

MSP

新規SPD受託施設（3件/約950床）が今期(4月・7月)より稼働開始

MSP

経営母体の異なる複数病院との一括契約SPD案件がスタート

## 営業利益

TPP

上期は計画通り進捗、一過性要因（TEC社M&A手数料）により減益

MSP

前期に稼働を開始したSPD施設の業績が堅調に推移

一方、原価高騰により一部医療材料の価格下げ圧力が続く

LC

水道光熱費/労務費の上昇、高い入居率を維持も前期比低下

PH

統合による経営効率化が数値的に現れる

## 経常利益

営業外

持分法適用会社からの「持分法による投資利益」は前期比減

- ✓ TPP事業の大型PJ案件は前期比で下期偏重計画だが、概ね計画通りに推移
- ✓ 利益面ではPH事業の統合で改善効果創出

# セグメント別 売上高

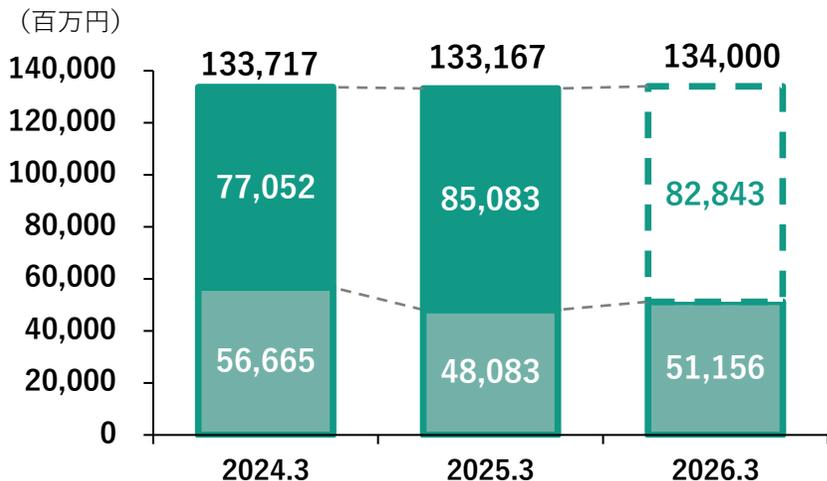
(百万円)	2025.3 中間期 実績	2026.3 中間期 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
トータルパックプロデュース事業 (TPP)	48,083	51,156	+3,072	+6.4%
メディカルサプライ事業 (MSP)	227,091	246,756	+19,665	+8.7%
ライフケア事業 (LC)	18,268	18,542	+274	+1.5%
調剤薬局事業 (PH)	16,589	16,929	+339	+2.0%
合計	310,032	333,385	+23,352	+7.5%

# セグメント別 営業利益

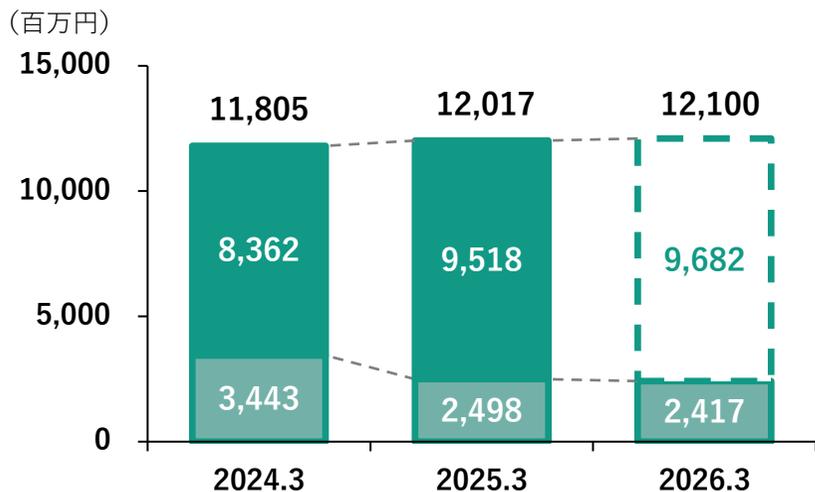
(百万円)	2025.3 中間期 実績	2026.3 中間期 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
トータルパックプロデュース事業 (TPP)	2,498	2,417	▲80	▲3.2%
メディカルサプライ事業 (MSP)	2,536	2,835	+299	+11.8%
ライフケア事業 (LC)	1,155	1,017	▲138	▲11.9%
調剤薬局事業 (PH)	1,546	1,976	+430	+27.8%
調整額	6	▲68		
合計	7,743	8,179	+435	+5.6%

## 売上高

■ 下期実績  
■ 上期実績  
--- 下期計画(2026.3)



## 営業利益



## プラス面

- PJは下期偏重計画、概ね計画通り
- 医療情報系ソリューションビジネスが好調  
(システム選定・導入支援、インフラ構築関連)
- ODA関連企業がグループ参画(テックインターナショナル)
- メーカー系の受注が前期比増、バン格拉事業の赤字幅縮小

## マイナス面

- 1QにM&A手数料などの一過性の諸費用を計上したこと等により、売上は増収となるも減益に

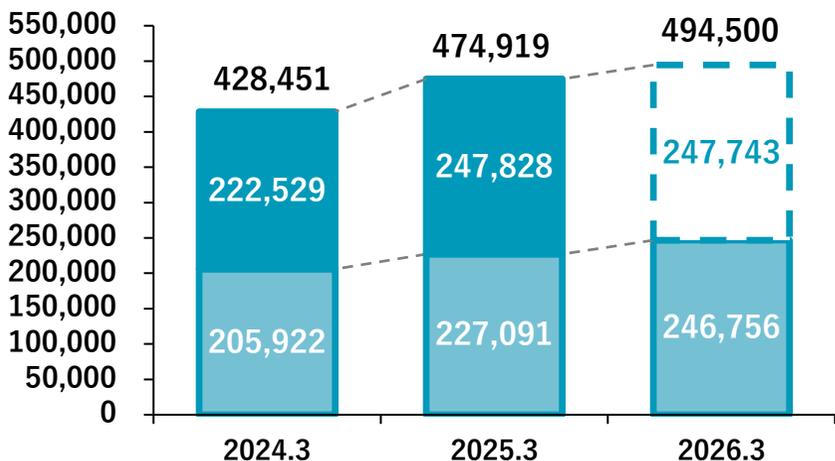
売上高 (百万円)	2025.3 中間期実績	2026.3 中間期実績	前期比 増減	前期比 増減率
PJ・ルーチン	17,701	18,327	+626	+3.5%
メーカー系	13,409	15,450	+2,041	+15.2%
海外	151	263	+111	+73.8%
キングラン	11,556	11,399	▲157	▲1.4%
その他(※)	5,264	5,715	+450	+8.6%
セグメント合計	48,083	51,156	+3,072	+6.4%

(※) 警備事業、建物管理事業、動物病院運営事業、医療刑務所事業の4社

## 売上高

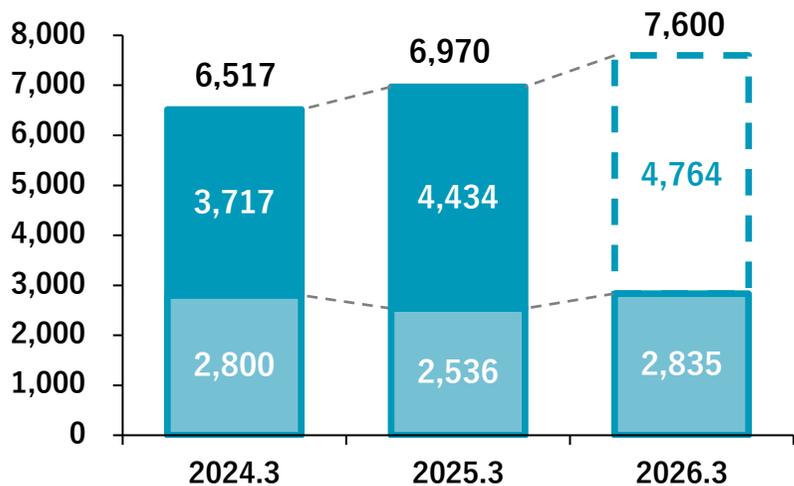
(百万円)

■ 下期実績  
■ 上期実績  
□□ 下期計画(2026.3)



## 営業利益

(百万円)



## プラス面

- 新規SPD受託施設（3件/約950床）が上期より稼働開始
- 経営母体の異なる複数病院との一括契約SPD案件がスタート
- 2024年10月1日付の5社統合を通じ経営効率化が進捗

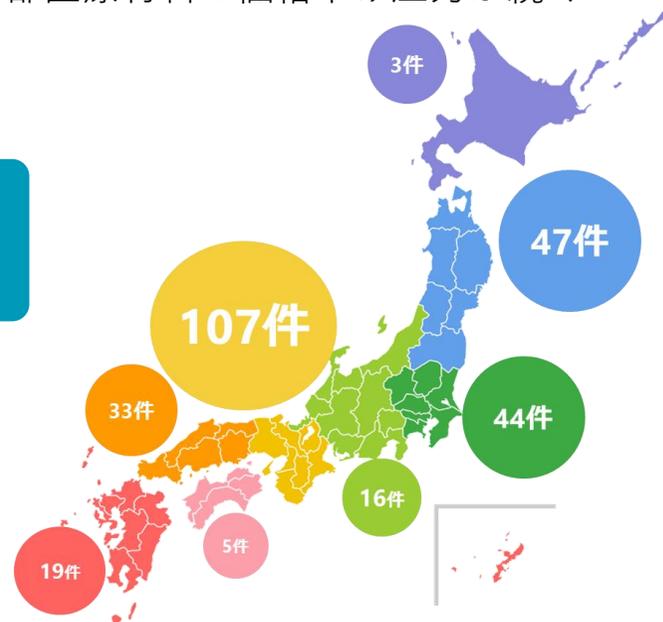
## マイナス面

- 仕入れ価格高騰、最低賃金上昇に伴う人件費/派遣費の増加
- 原価高騰に伴う一部医療材料の価格下げ圧力が続く

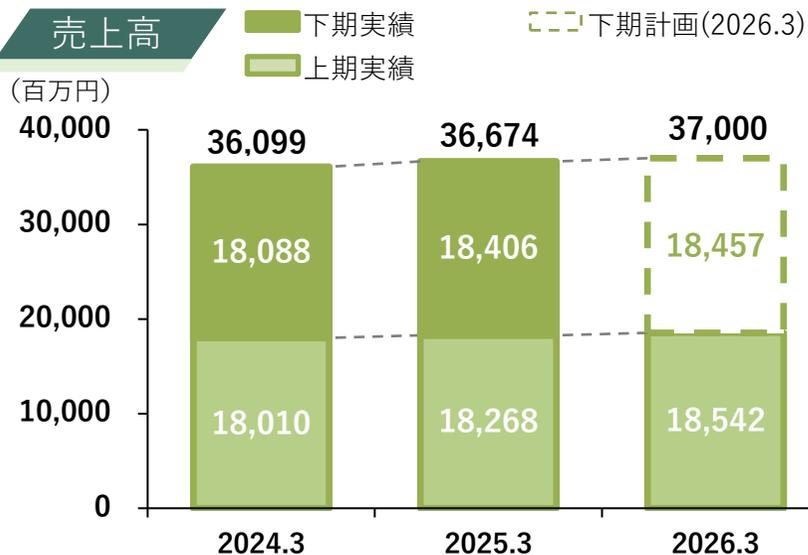
## (SPD受託状況)

全国 274 件  
約101,000床

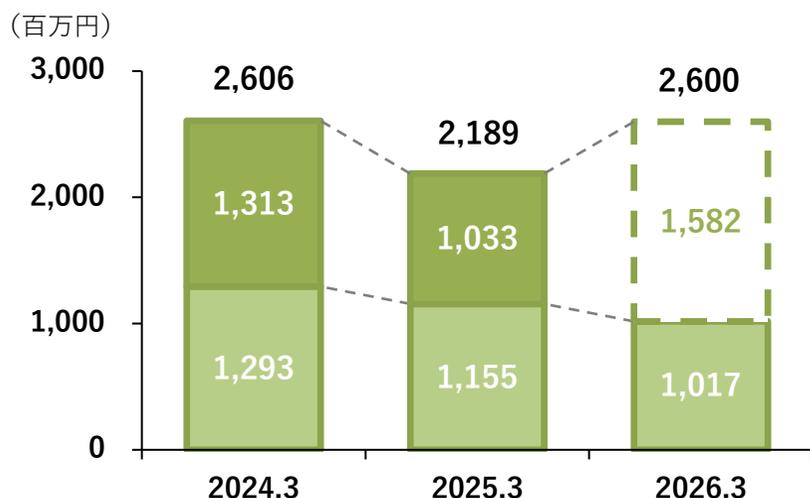
(2025年9月30日現在)



## 売上高



## 営業利益



## プラス面

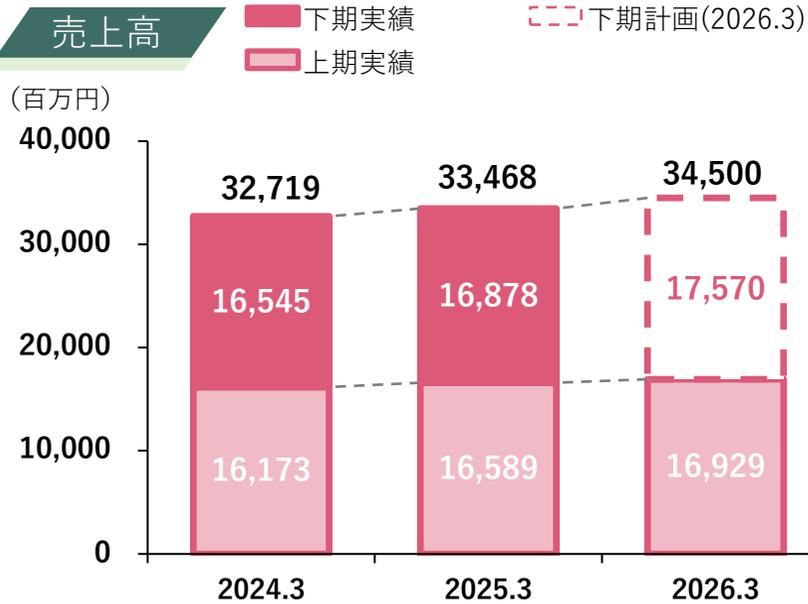
- 【ライフ】1月1日付で2社の統合完了、1社体制へ
- 【フード】ドリームキッチンの契約施設数伸長
- 【フード】原価高騰を鑑み不採算施設の厨房業務撤退  
又はドリームキッチン使用運営への転換を実施

## マイナス面

- 【ライフ】水道光熱費の上昇（酷暑による使用量増加）
- 【ライフ】高い入居率を維持するも、前期比では減少
- 【フード】食材費高騰
- 【共通】人手不足による派遣費、委託費の高騰  
（価格転嫁対応進捗中）

売上高（百万円）	2025.3 中間期実績	2026.3 中間期実績	前期比 増減	前期比 増減率
ライフ事業	12,216	12,368	+151	+1.2%
フード事業	6,051	6,173	+122	+2.0%
セグメント合計	18,268	18,542	+274	+1.5%

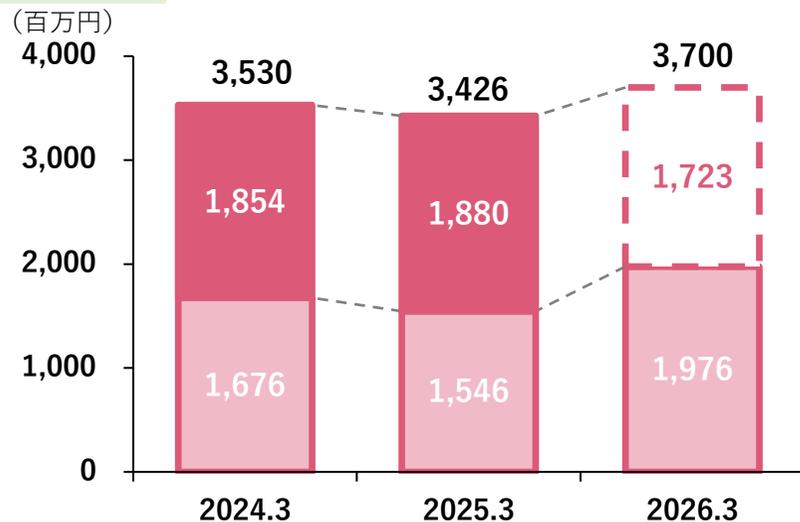
## 売上高



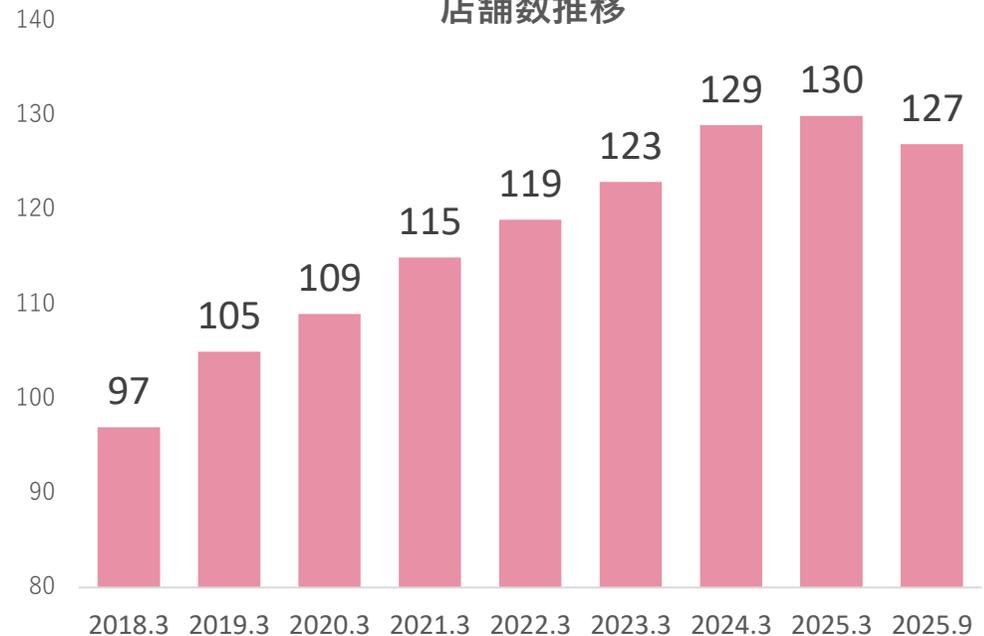
## プラス面

- 2025年4月1付で4社の統合が完了
- 統合効果により、求人開拓費の削減等を実現
- 前期末より経営効率化の観点から5店舗を統合
- 中間期末に新たに2店舗を運営する会社がグループ参画

## 営業利益



## 店舗数推移



生命を守る人の環境づくり



# 下期の事業環境 通期見通し

# 事業領域の拡大及びWell-Beingの展開

- 「生命を守る人の環境づくり」から「自然と環境を守る」へ



既存事業の深化と拡大を図るとともに、人と社会のより良い未来を見据え、Well-Being領域への新たな挑戦を進める。

# 下期の事業環境認識/通期見通し

## トータルパックプロ デュース事業(TPP)

- 進行中の大型PJ案件は当初予定通りに進捗
- 医療機関の経営環境や物価高の影響で、中長期的に建替えは遅延リスクあり
- ITソリューション/コンサルは増加傾向

## メディカルサプライ 事業(MSP)

- 従来の大阪SCに加えて、首都圏でも物流センターの稼働開始（年内予定）
- MSP事業を起点とした他セグメントへビジネスの深耕

## ライフケア事業 (LC)

- 見守りセンサーの導入や支援ロボット導入等による業務効率化
- 水道光熱費/派遣費/委託費の高騰等に伴う価格見直しを実施

## フード事業 (FD)

- 不採算施設の厨房業務撤退又はドリームキッチン(DK)運用へ転換を図る
- KG11,000件の顧客基盤をターゲットに、既存エリア以外でのDK拡販

## 調剤薬局事業 (PH)

- M&A（シナジー効果・ドミナント展開）の継続
- 再編統合によるバックオフィス機能集約、共用資産の有効活用等により引き続き経営効率化を図る

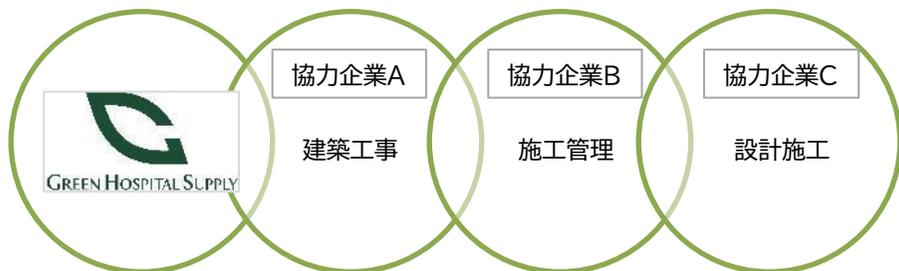
# リニューアル案件に対する取り組み

- リニューアル工事（手術室・ICU等設備工事や医療施設一部改築案件等）を継続受注することにより、今後の病院リモデル案件の獲得へ繋げる。

## リニューアル案件に対応できる体制づくり（例）

当社グループ中核企業であるグリーンホスピタルサプライが2024年より、工事協力会社の会、「MFグリーンの会」を発足。今後増加するリニューアル案件に向けて、協力会社とも関係強化を図る。  
現時点協力企業数 28社

MF（Medical Facility=医療と設備）



目的:安全衛生の推進と事故防止を目的に、教育・情報共有・改善活動・行事・パトロール・講習会・交流を行う。

## リニューアル事例



**A病院**  
**ナースステーション改築案件**  
ナースが業務を行いやすいよう、動線の整理、機能面の向上を図り、患者様があたたかみを感じられるような柔らかいデザインに変更。



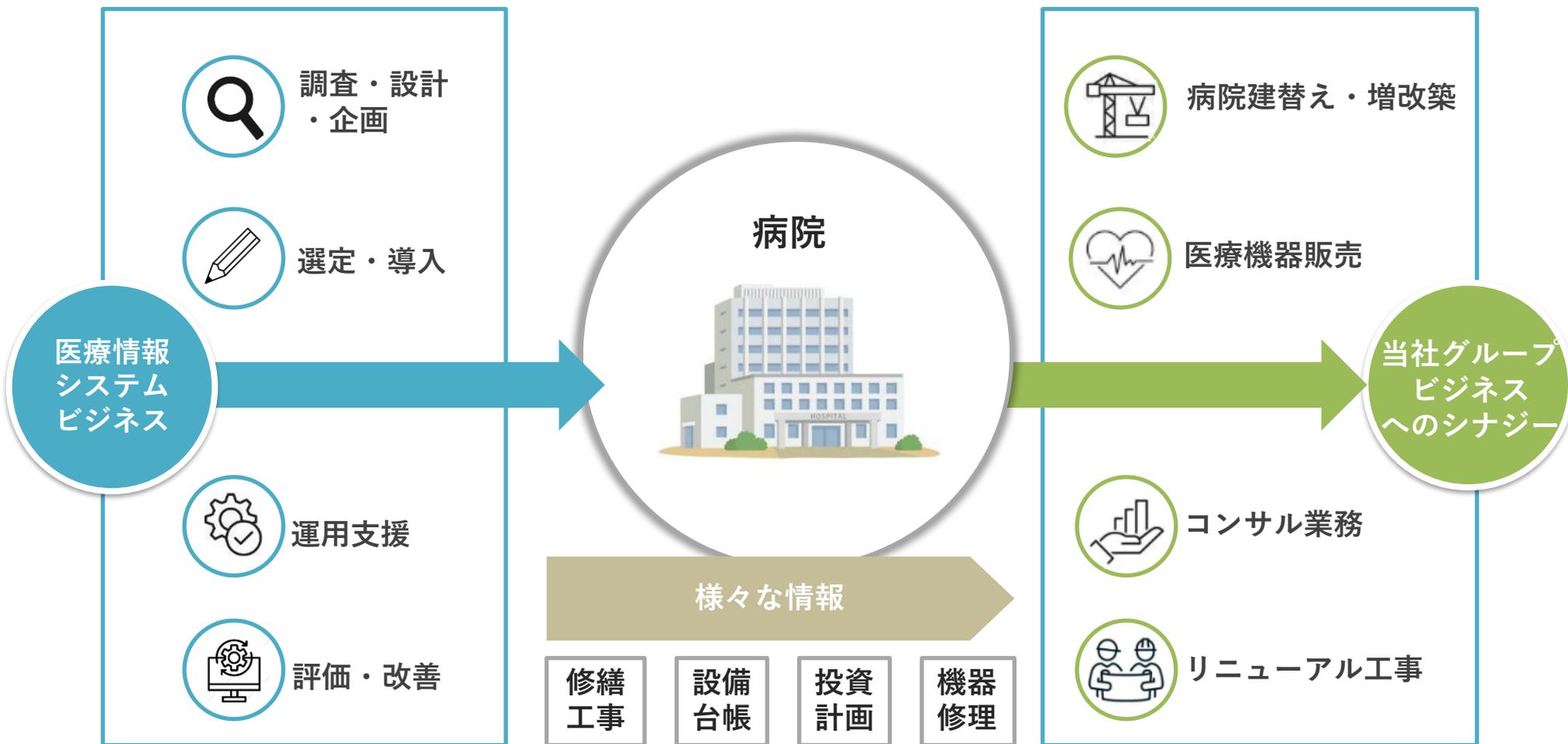
**B病院**  
**病室（大部屋）改築案件**  
患者様が快適な入院期間を過ごしていただけるよう、部屋の空間を最大限活用できる設計のもと改築を行った。

家具の製造販売を行う事業会社を既にグループに



# ITソリューション

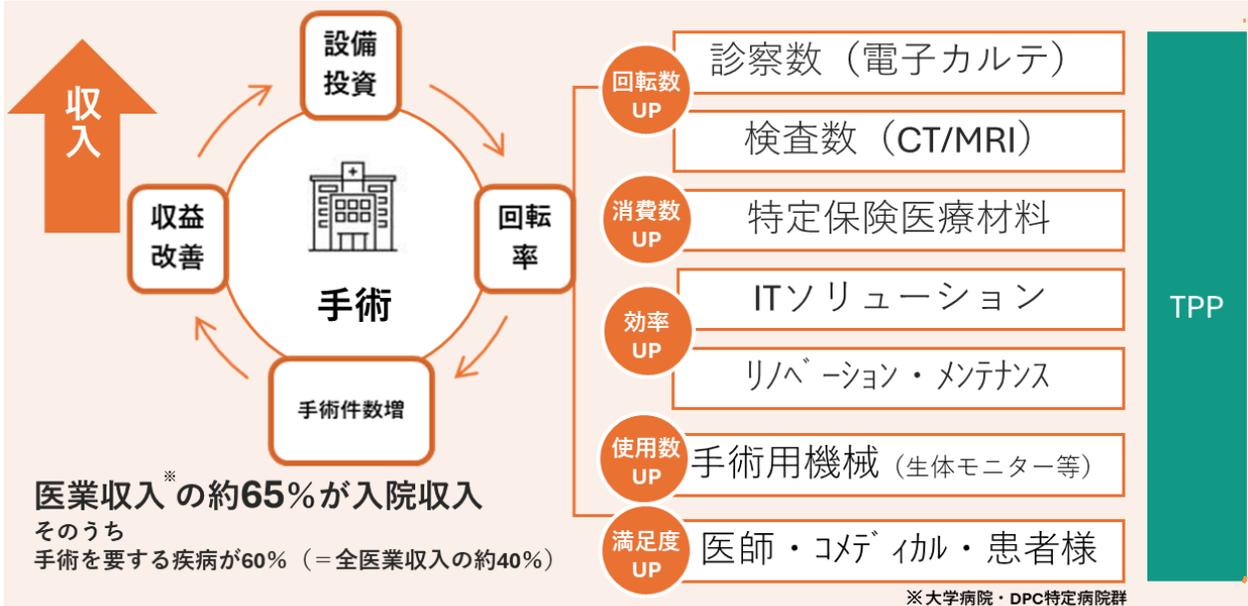
- 医療DX推進本部の設置等により、基盤となるネットワークインフラ整備案件需要が増加
- 病院ネットワーク構築の豊富な実績に基づき、最適なソリューションを提供



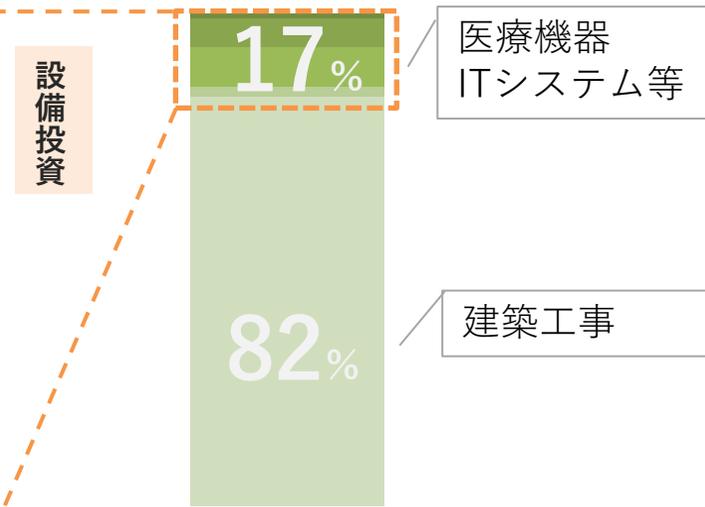
# 病院運営の最適化

■ 建替は最適な手段だが、病院収益に直結する設備投資は約20% → 病院収支改善に必要な投資優先へ

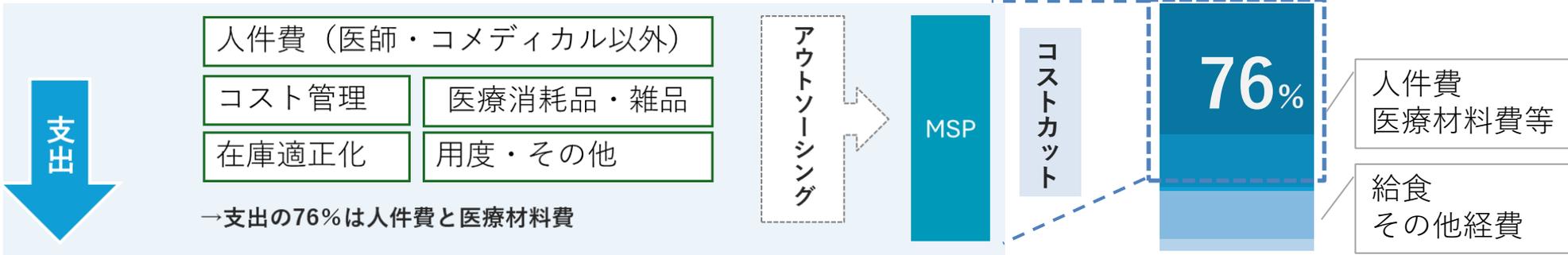
## 病院運営最適化するためのビジネス



## 病院建替え事業費内訳例



## 病院費用構造例



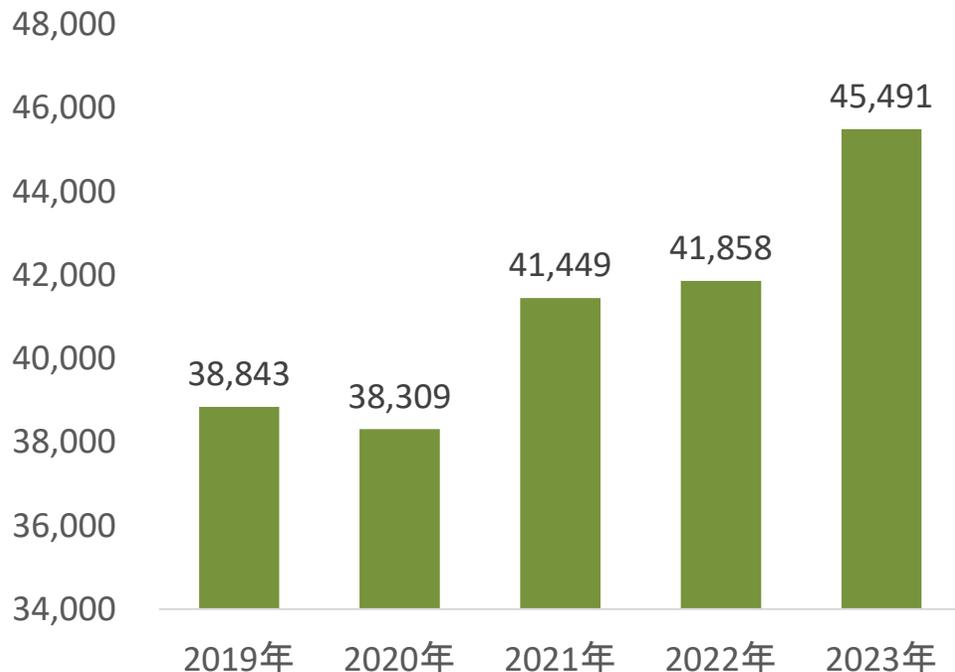
# 医療機器の国内市場概観

- 病院数は減少しているものの、医療機器の国内出荷額は増加傾向
- 治療およびその関連機器が国内出荷高の過半数を占める

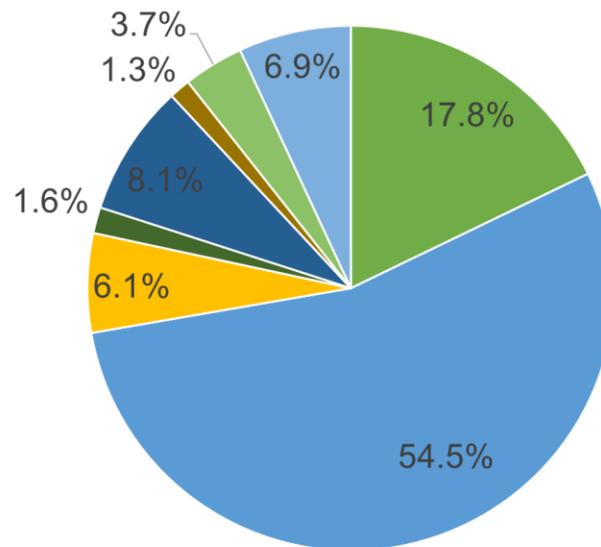
医療機器の国内出荷高

2023年 国内出荷高 45,491億円（内訳）

（単位：億円）



出所：一般社団法人 日本医療機器産業連合会

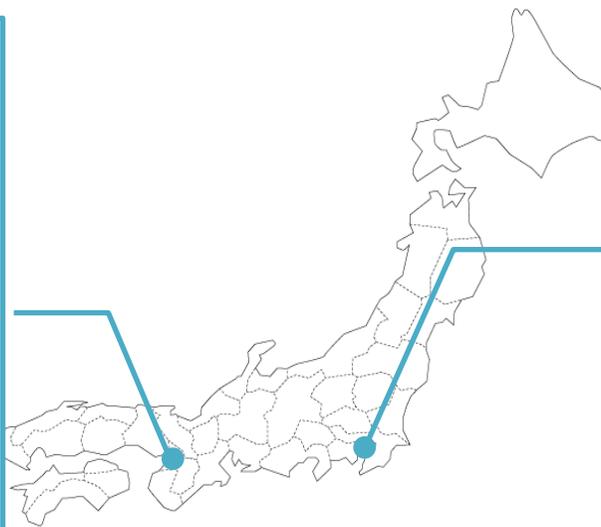


- 診断及びその関連機器
- 治療及びその関連機器
- 歯科用品及びその関連機器
- 施設用機器
- 眼科用品及び関連製品
- 衛生材料及び衛生用品
- 家庭用医療機器
- その他

# 次世代物流構想

- 従来の大坂SCに加え、新たに首都圏における物流構想を始動
- 単なる倉庫ではなく、病院から選ばれる次世代の物流拠点に

大阪ソリューションセンター  
(2021年運用開始)



NEW

首都圏 最先端の新拠点構想



## 物流構想の5つのポイント

1

将来を見据えた働き手不足に対応した物流改革

人材の集約化・ロボット化による業務効率化

2

新たな購買戦略

拠点を活かした在庫保有や物流改善により、メーカー各社との連携強化

3

顧客ニーズに対応できるグループのブランド戦略

経営母体が異なる複数病院一括契約にも対応

4

BCP対応

医療材料の安定供給を可能とする体制の構築

5

病院内スペース不足による院外への新たなニーズ

院内型SPDは病院に多くの空間を要することから院外ニーズへの需要獲得

# 首都圏物流センター概要紹介

- 1 施設概要**
- 延床面積 4,274坪 (14,129㎡)
  - 取扱品目数 約70,800品目
  - 稼働開始 2025年12月 (予定)

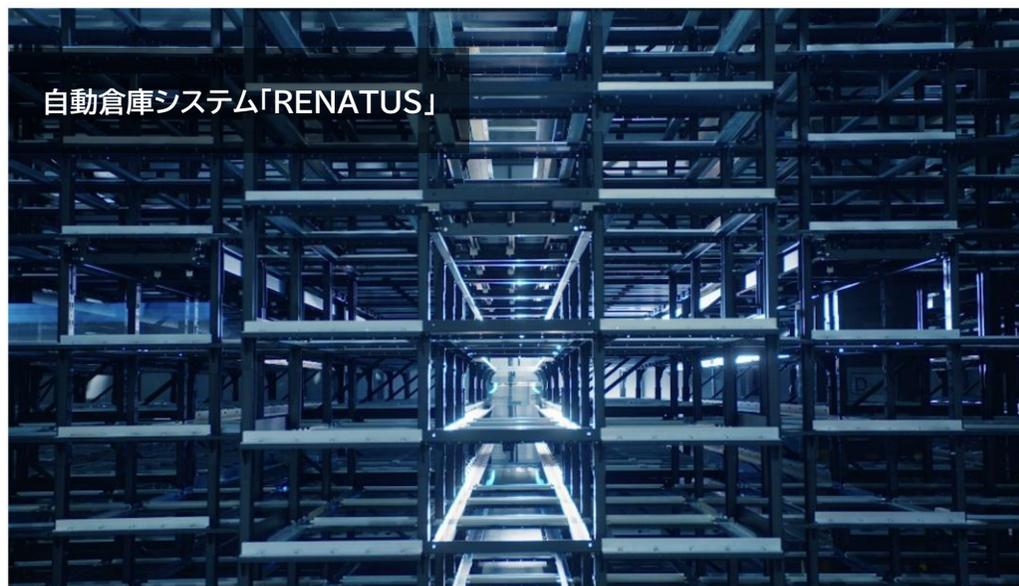
**2 先端技術の最大限活用した設備導入**

日本発の自動倉庫システム「RENATUS※」を中核とし、AI・ロボティクス・RFIDなどの先進技術を導入。

- ▶ SPD中核機能で地域医療物流を最適化  
首都圏の医療現場を強力にサポート

**3 自動倉庫による業務削減比較 (ピッキングの場合)**

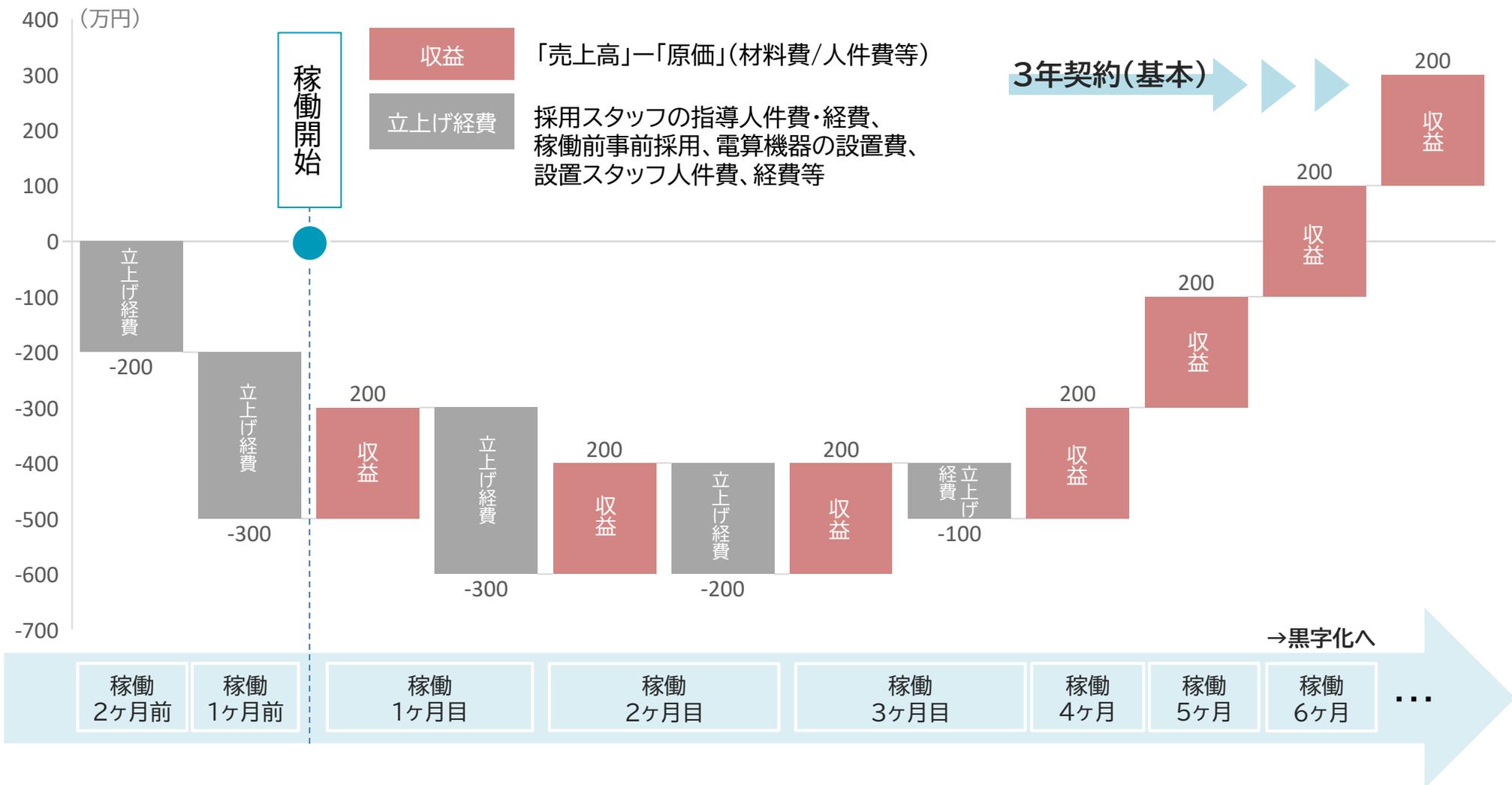
項目	これまでの「人」	これからの「自動倉庫」
病床数		850床
対象部署数		70部署
1日カード枚数		2,400枚
人数	12人	<b>1人</b>
総時間数	35時間	<b>7.9時間</b>



※ 超高効率の自動倉庫を製造・販売を行うRENATUS ROBOTICS株式会社が開発した統合型自動倉庫システムの名称。

# SPDの収益構造（例）

■ SPDは稼働の約2か月前から稼働後3か月頃まで赤字が先行し、その後黒字化



# グループ内再編統合による総合力を発揮

- MSP事業をメインとした、グループの再編統合による総合力を発揮。

## 与信力・交渉能力の向上

- ・ メーカー交渉
- ・ 病院価格下げ圧力



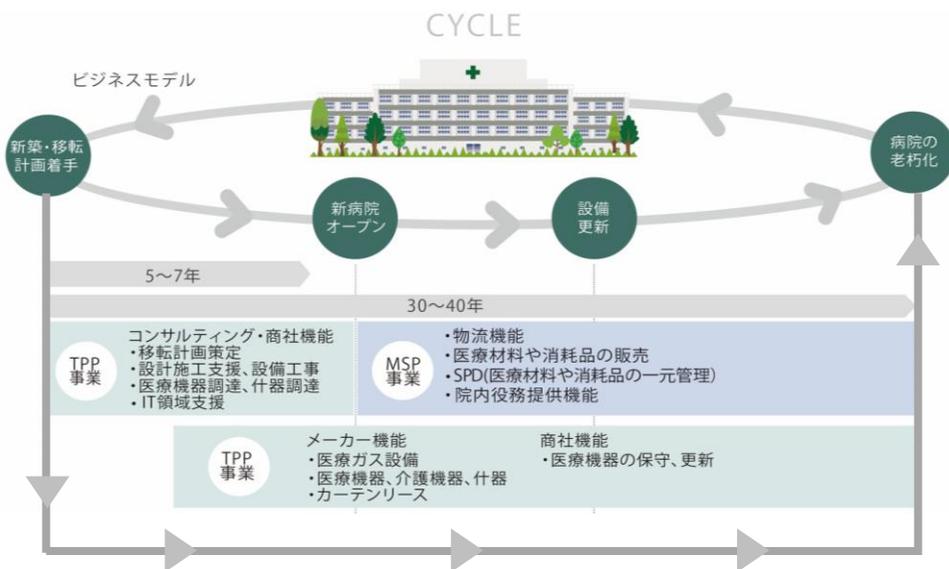
## 在庫管理・物流能力

- ・ 物流センター  
(関西から関東への拡大)



## 分析ノウハウ

- ・ IT化、SIPやデジタルツインへの挑戦
- ・ 経営データの蓄積と分析



攻めの  
TPP

守りの  
MSP

強化  
利益改善  
顧客利便性向上  
経営効率化

攻めの  
MSP

メインビジネス  
TPPへの還流

# グループ連携案件事例

(例1) コンサルティング業務からの他事業へ展開事例

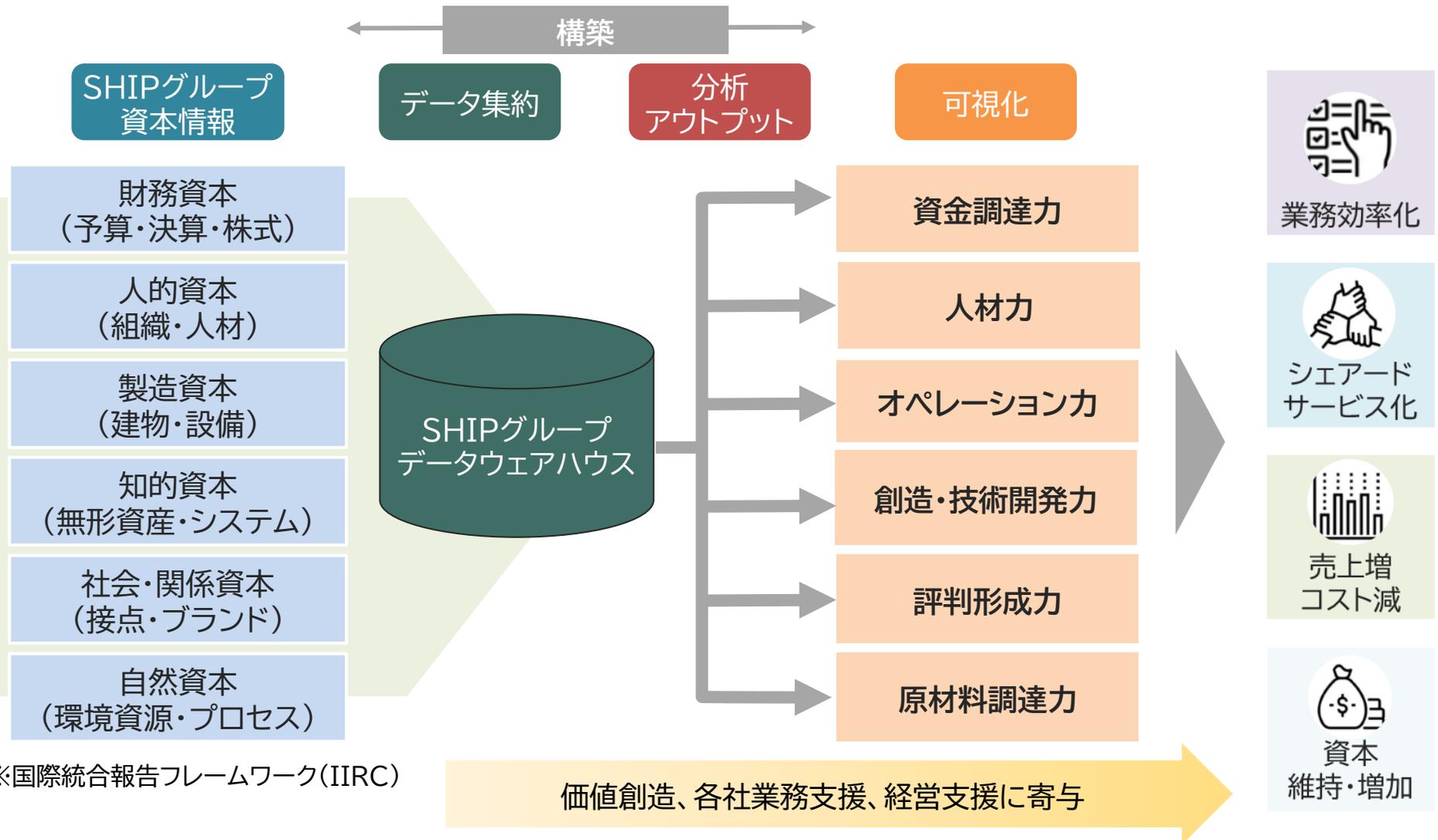
<p>TPP事業</p>			<p>TPP事業</p>	<p>MSP事業</p>	<p>FD事業</p>
	<p>展開</p>	 <p>手術室</p>	 <p>カーテン</p>	 <p>SPD</p>	 <p>患者給食</p>
<p>A病院 コンサルティング業務</p>		 <p>リハビリ</p>	 <p>家具</p>		

(例2) メディカルサプライ事業からの他事業へ展開事例

<p>MSP事業</p>					
	<p>展開</p>	<p>TPP事業</p>			
<p>SPD業務 診療材料販売先</p>		 <p>多用途筋機能評価 運動装置</p>	 <p>放射線治療装置</p>	 <p>无影灯</p>	 <p>データ管理サーバ</p>

# グループ連携のためのIT基盤整備

- グループ全体の情報を一元化し、経営判断を支えるIT基盤の整備に着手



生命を守る人の環境づくり

 **SHIP HEALTHCARE**

トピックス

# ODA専門商社グループ参画

■医療にまつわるODA（政府開発援助）専門貿易商社「株式会社テックインターナショナル」が2025年5月27日付でグループへ参画。

※ 独立行政法人国際協力機構（JICA）の専門家として政府開発援助（ODA）事業に携わっていた経験を元に設立。これまでに30年以上、世界の国々において国際貢献に携わってきた実績。（1990年設立／本社・東京）



MRI



医療コンテナ

毎年  
50プロジェクト

医療機器・医療設備  
(納品・据付)

SHIP HEALTHCARE GROUP



発注  
(一部、商社からも含む)



# 吹田市中の島公園再整備事業

- Park-PFI事業として新たに吹田市中の島公園再整備事業を受託。  
(指定管理契約期間2025年7月～2045年3月まで)

ーパークコンセプトー

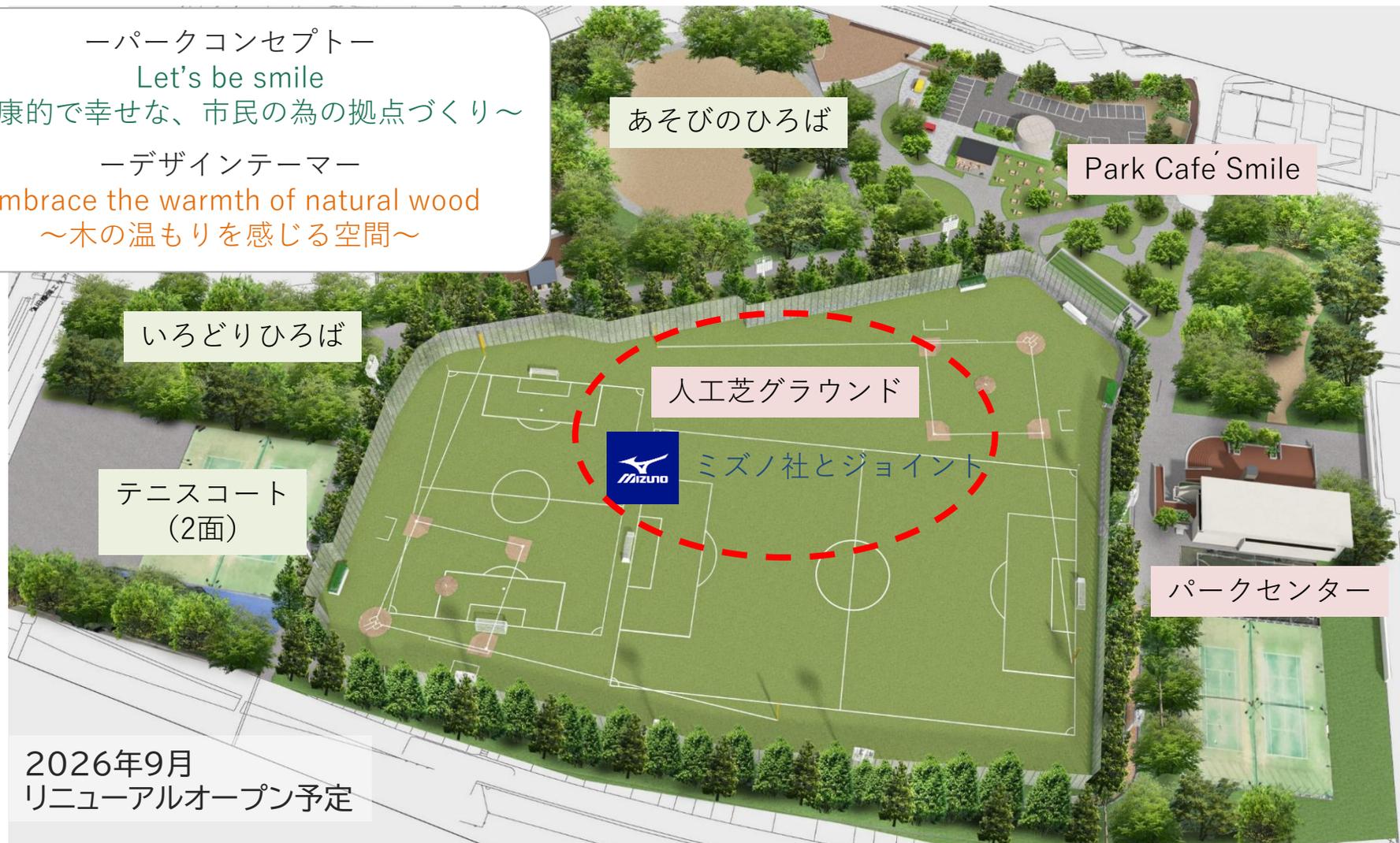
Let's be smile

～健康的で幸せな、市民の為の拠点づくり～

ーデザインテーマー

Embrace the warmth of natural wood

～木の温もりを感じる空間～



2026年9月  
リニューアルオープン予定

# グループ再編進捗

- グループ会社の自律的な成長を軸としつつ、経営資源を効率的に活用しグループの総合力を発揮するため、グループ内の再編統合を更に推進
- 収益力強化に加え、スケールメリットやバックオフィス集約により経営効率化を図る

セグメント	2024年 4月1日時点	2025年 9月30日時点	中期経営計画 期間中
トータルパック プロデュース事業	35社	32社	
メディカルサプライ 事業	17社	12社	
ライフケア事業	8社	5社	
調剤薬局事業	4社	2社	
持株会社 (HD)	1社	1社	
合計	65社	52社	

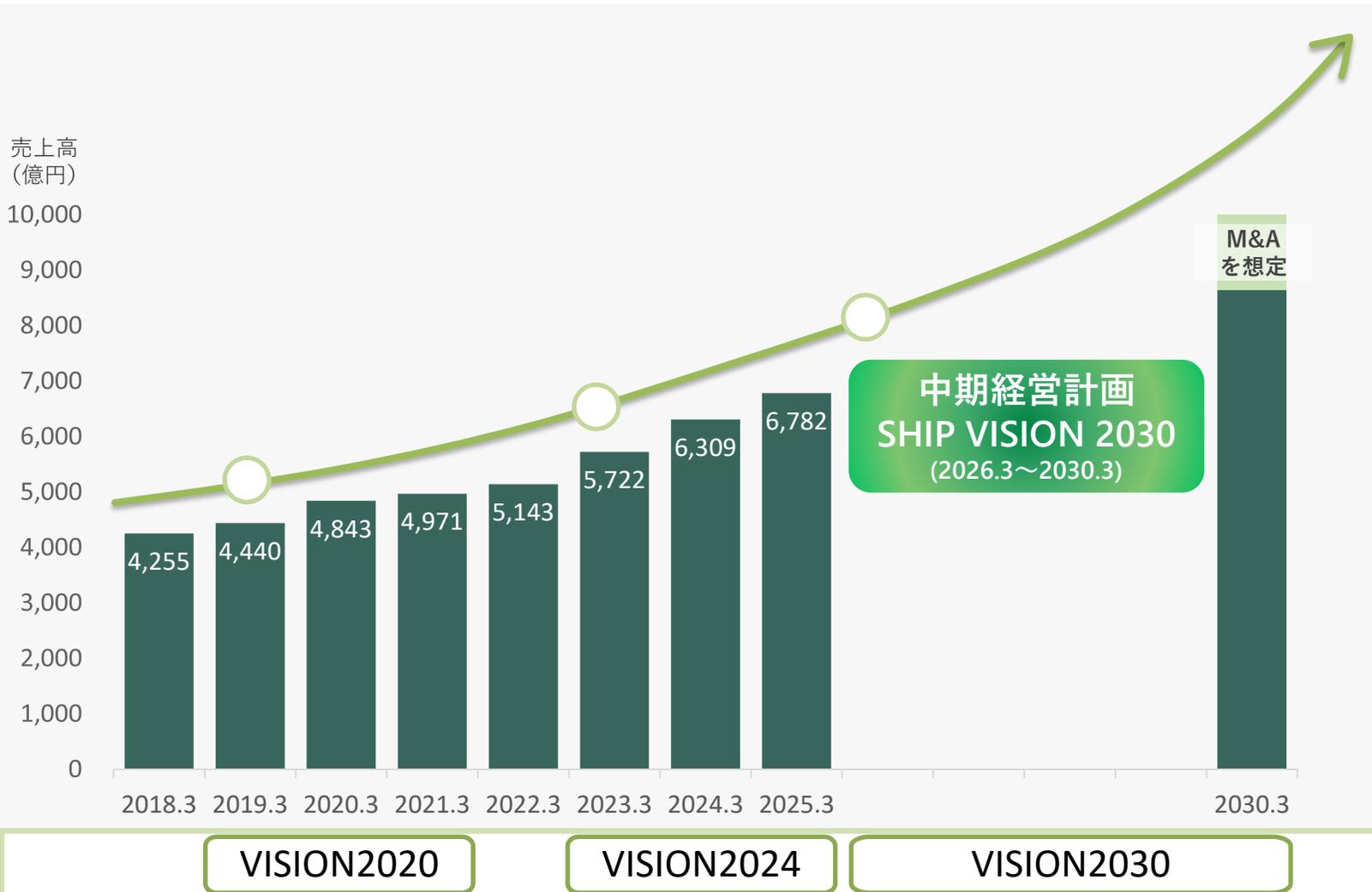
生命を守る人の環境づくり



**参考資料**  
**< 中期経営計画 >**

# 中期5ヵ年経営計画 定量目標

## ■ 中期経営計画 定量目標



### 成長性

売上成長率

**5%**

(年平均成長率 CAGR)

### 収益性

営業利益率

**4%**

グループ経営資源最適化

### 資本効率性

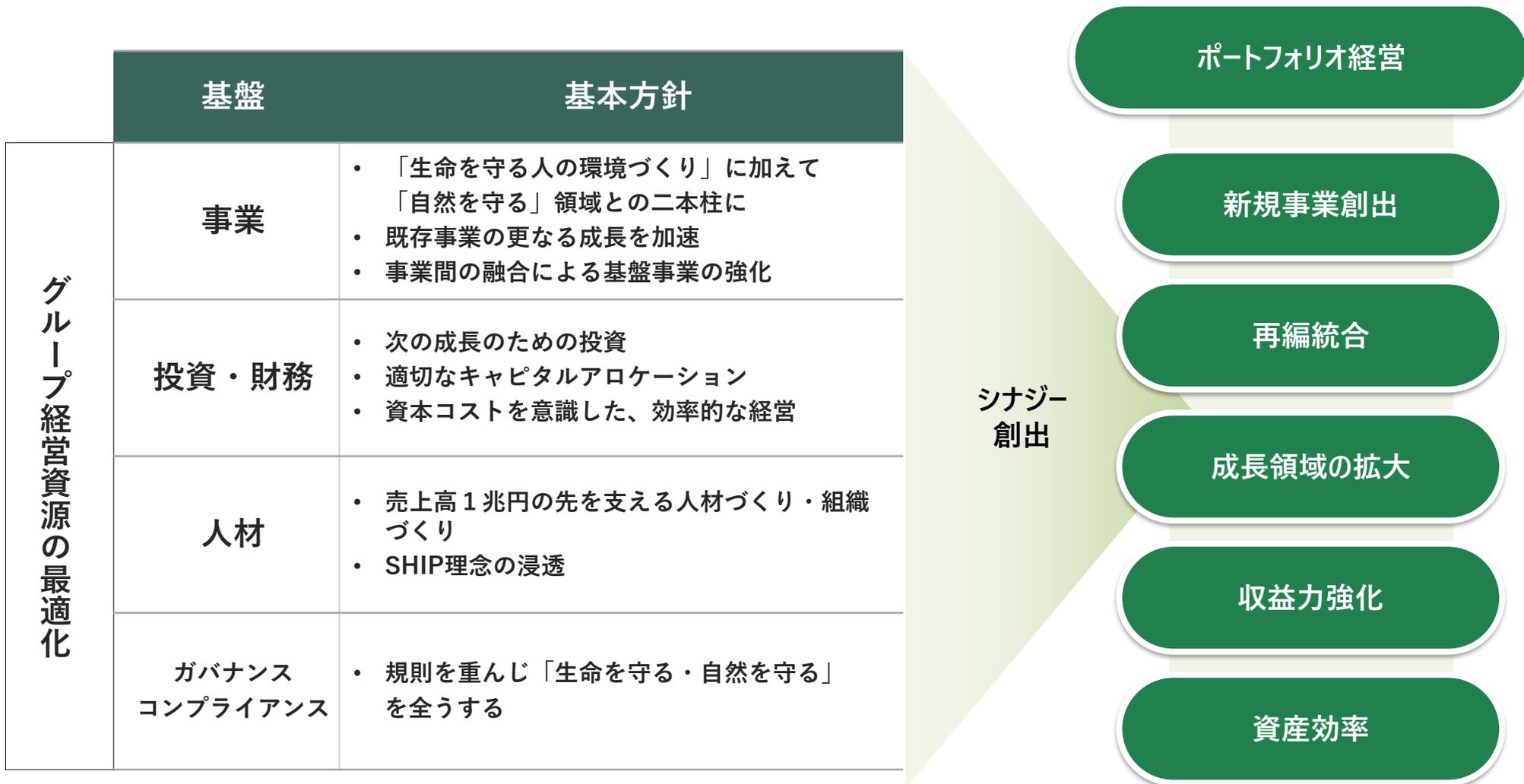
ROE目標

**12%**

株主資本コストを上回るROE

# 中期5ヵ年経営計画 基本方針

## ■ グループ経営資源の最適化によるポートフォリオ経営



# 中期5ヵ年経営計画 重点項目

重点項目 **1**

## 新規事業創出

「生命を守る人の環境づくり」を軸に Well-Beingを通じた「人々がより良く生きる環境づくり」へ

重点項目 **2**

## 再編統合

グループ会社の自律的な成長を軸としつつ、経営資源を効率的に統合し、グループの総合力を発揮

重点項目 **3**

## 成長領域の拡大

グループ連携で得られる様々なリソース活用し、さらなるシナジーを創出

■ 「生命を守る人の環境づくり」を軸に「人々がより良く生きる環境づくり」へ



全ての人々の環境作りを  
めざして、グループ一丸！

- 吹田市江坂公園及び吹田市立江坂図書館、桃山公園の魅力向上事業、中の島公園・吹田市立中の島スポーツグラウンドにおける**指定管理者**（Park-PFI事業）に選ばれ、**指定管理業務を受託**。

※Park-PFI制度：民間事業者による公共還元型の収益施設の公募設置管理制度。



- 吹田市が保有する小学校、中学校、幼稚園、保育所等合計84施設に関する施設管理業務等を受託。（業務期間：2023年10月1日～2028年3月31日）



ますます広がる行政との連携・共創

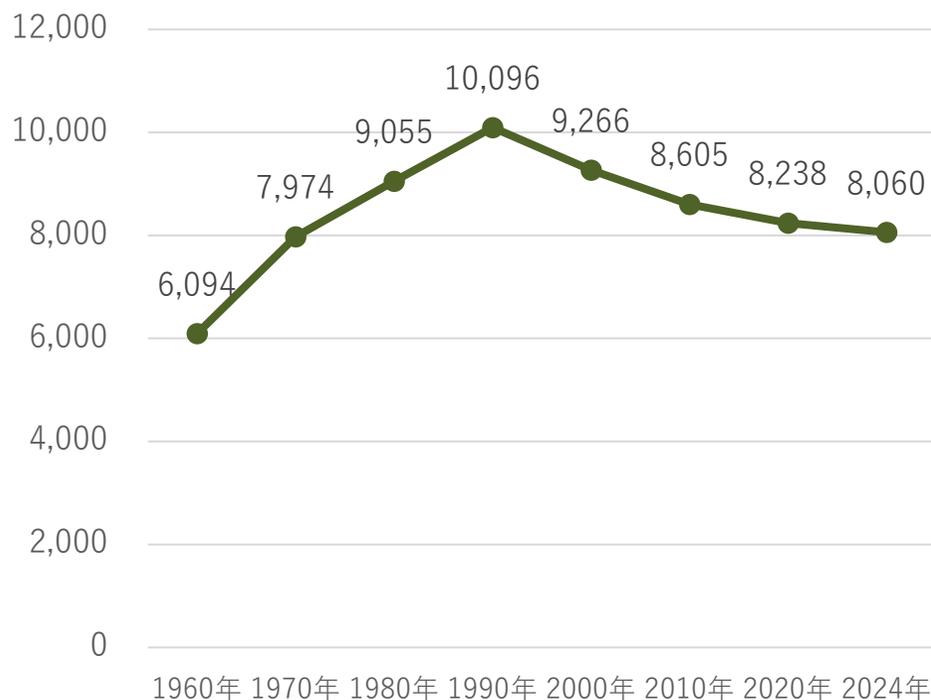
生命を守る  
自然を守る

- グループ会社の自律的な成長を軸としつつ、経営資源を効率的に活用しグループの総合力を発揮するため、グループ内の再編統合を更に推進
- 収益力強化に加え、スケールメリットやバックオフィス集約により経営効率化を図る

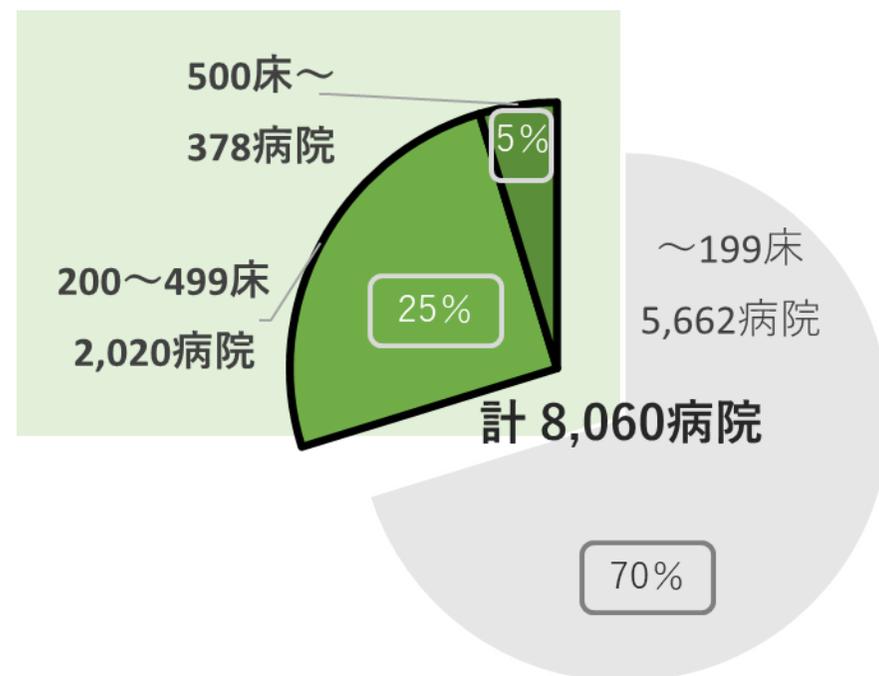
セグメント	2024年 4月1日時点	2025年 4月1日時点	中期経営計画 期間中
トータルパック プロデュース事業	35社	30社	
メディカルサプライ 事業	17社	12社	
ライフケア事業	8社	5社	
調剤薬局事業	4社	1社	
持株会社 (HD)	1社	1社	
合計	65社	<b>16社の 再編統合</b> 49社	

- 地域医療構想により、過剰な急性期病床の集約が緩やかに推進
- さらに、2027年度までに全国でおよそ11万床の病床を削減する方向性を3党で合意

病院数の長期推移



2024年時点の規模別病院数

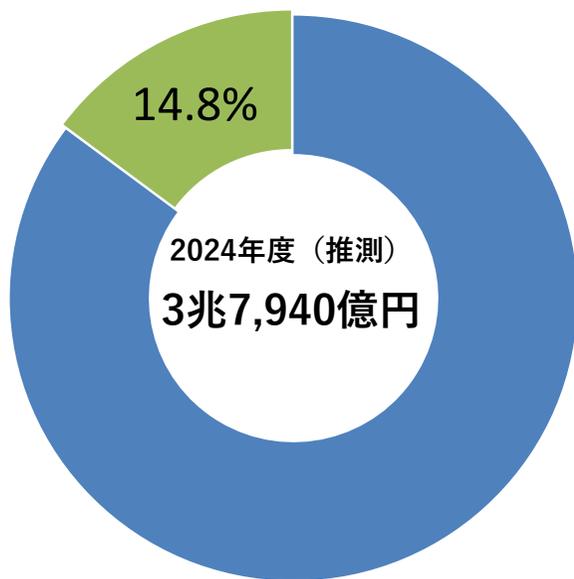


(出典) 厚生労働省医療施設調査より、弊社作成

- デイラー総数は減少の一方、売上高200億円以上の社数は年々増加傾向⇒業界再編が進む

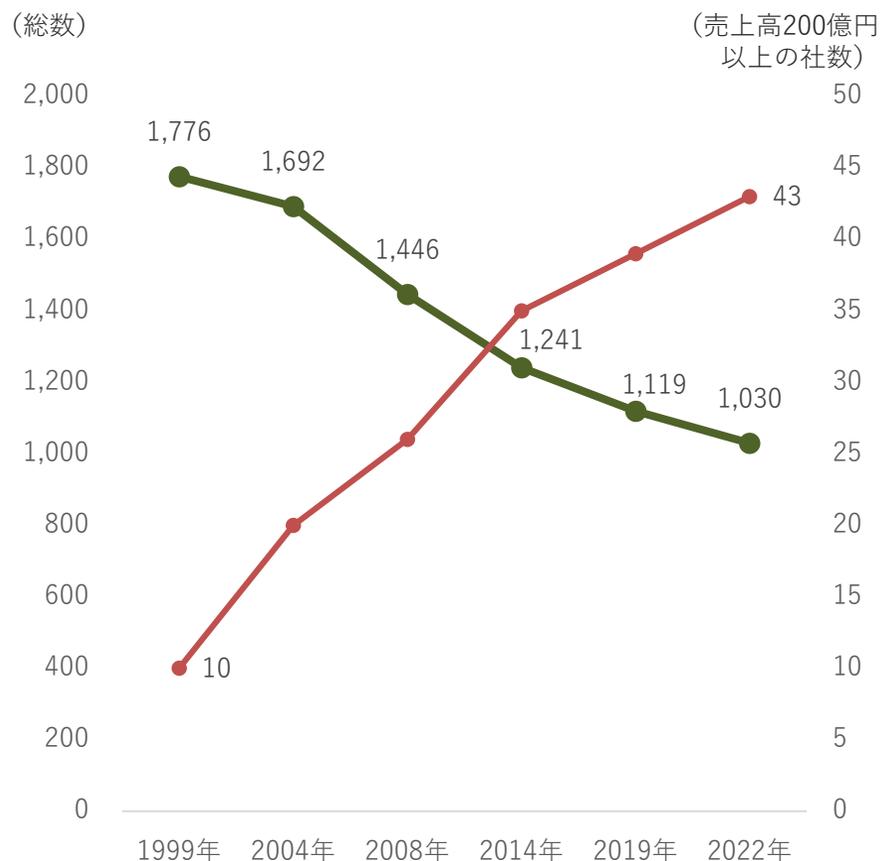
### 医療機器・用品の末端市場規模

当社シェア 5,622億円  
(MSPセグメント+TPPセグメント売上高)



医療機器・用品の末端市場規模  
3兆7,940億円 (2024年度推測)

### 医療機器ディーラー数の推移 (総数/売上高200億円以上の社数)



(出典) 医療機器・用品年鑑 (R&D)2024年版より、弊社作成

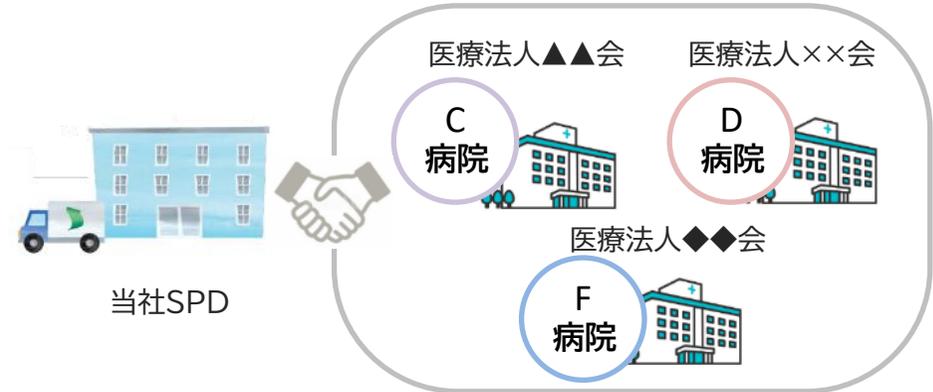
■ グループ規模を活かし、単独契約から複数病院一括での契約要望への対応



今後

事例1. 同一経営母体の複数病院との一括契約 (同じ経営母体、異なる都道府県)

事例2. 異なる経営母体の複数病院との一括契約 (異なる経営母体、同じ都道府県)



- 既存得意先ごとに当社グループで価値提供が可能な領域を再定義
- MSP事業を起点とし、グループ他セグメントへビジネス展開（1ヒット5打点）

グループ12社で各々のビジネス

	A 病院	B 病院	C 病院	D 病院
経営層				●
循環器			●	
整形	●			
OP				
中材		●		
施設課			●	
用度課				
庶務課		●		
大型機器				●
一括保守				

商社系・SPD系  
新体制

再編統合によりシェアUP

	A 病院	B 病院	C 病院	D 病院
経営層			●	●
循環器			●	
整形	●	●	●	
OP	●	●	●	●
中材	●	●	●	●
施設課	●		●	
用度課	●		●	●
庶務課	●	●	●	●
大型機器			●	●
一括保守			●	●

ビジネスの発信源はMSPにあり！！



修理窓口サービス  
ME機器管理サービス



資本力を活かした  
医療機器リース



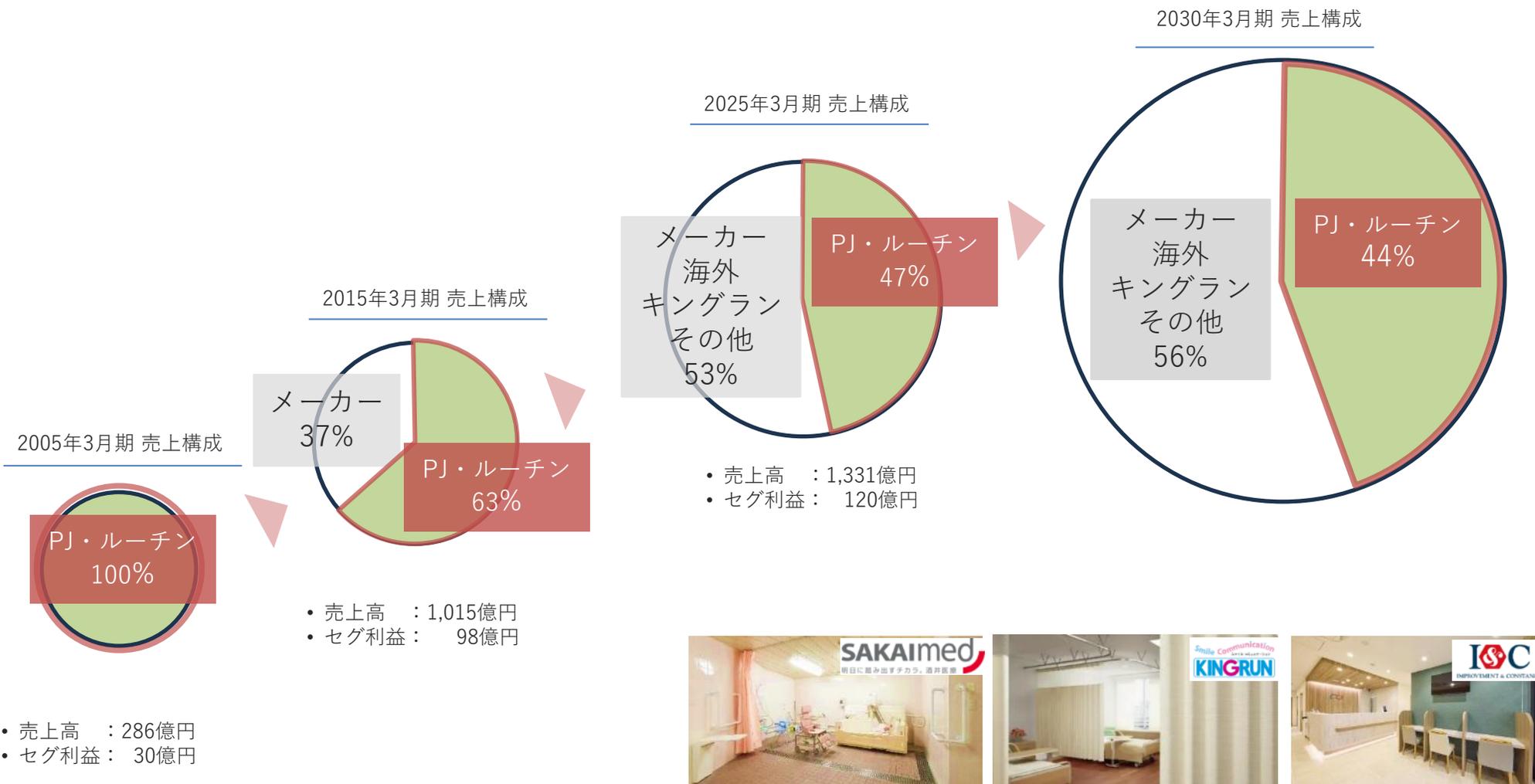
OP室支援業務



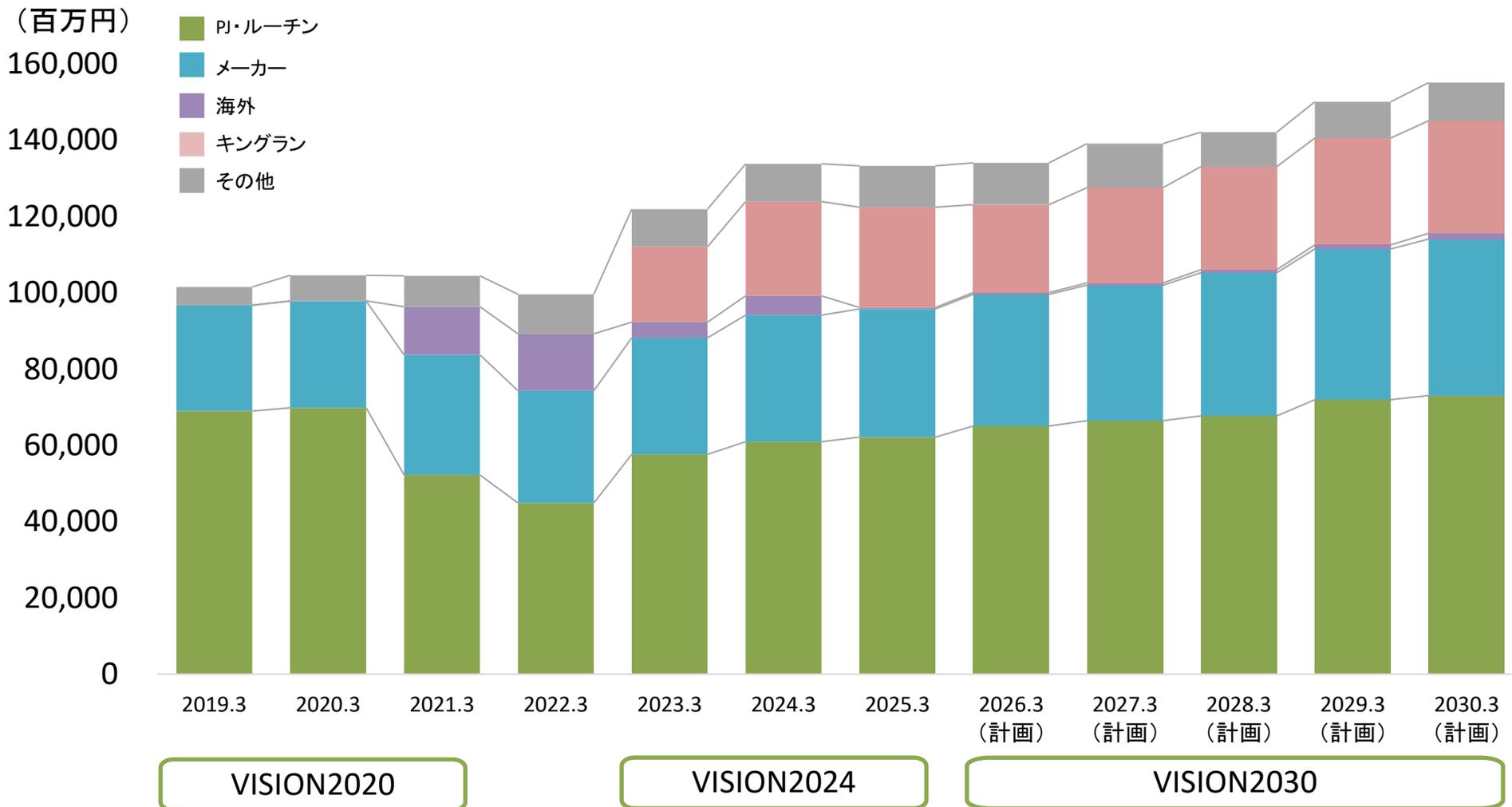
リニューアル工事受託  
その他工事受託

TPP事業との連携

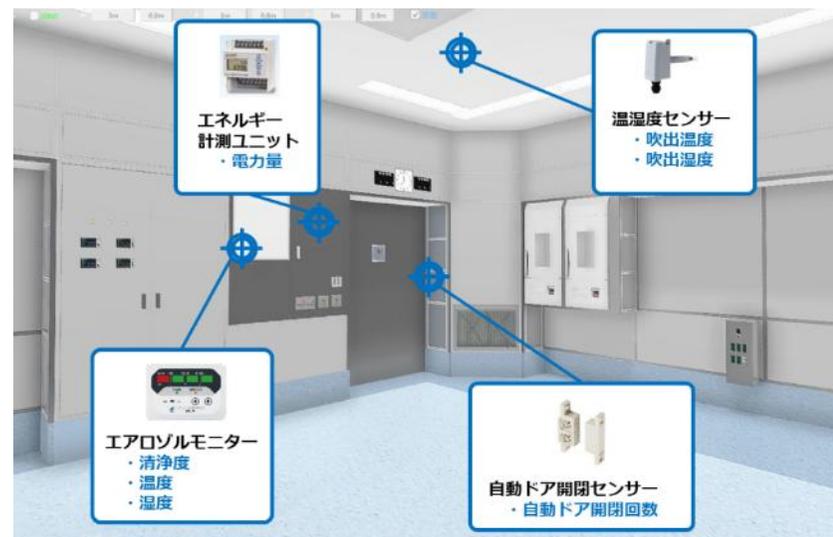
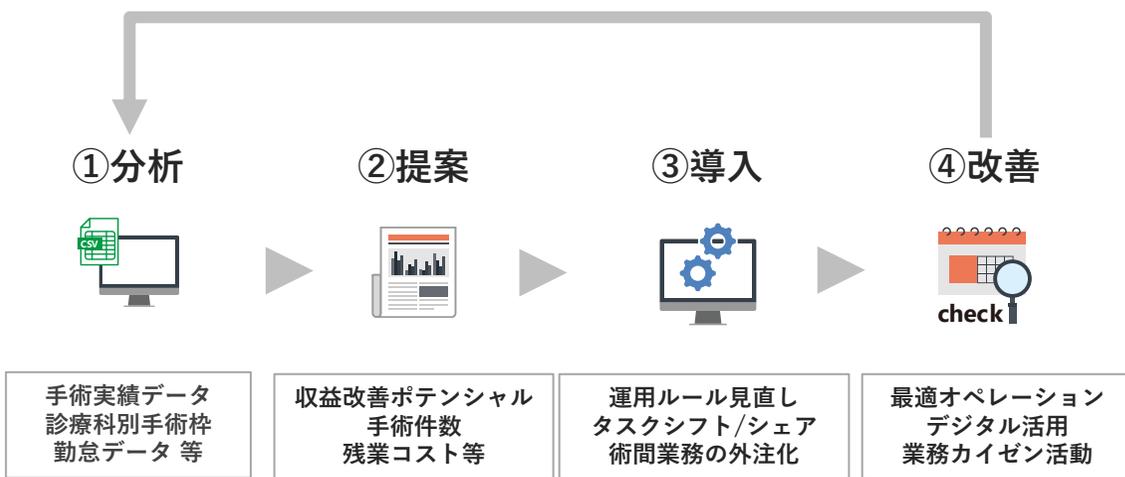
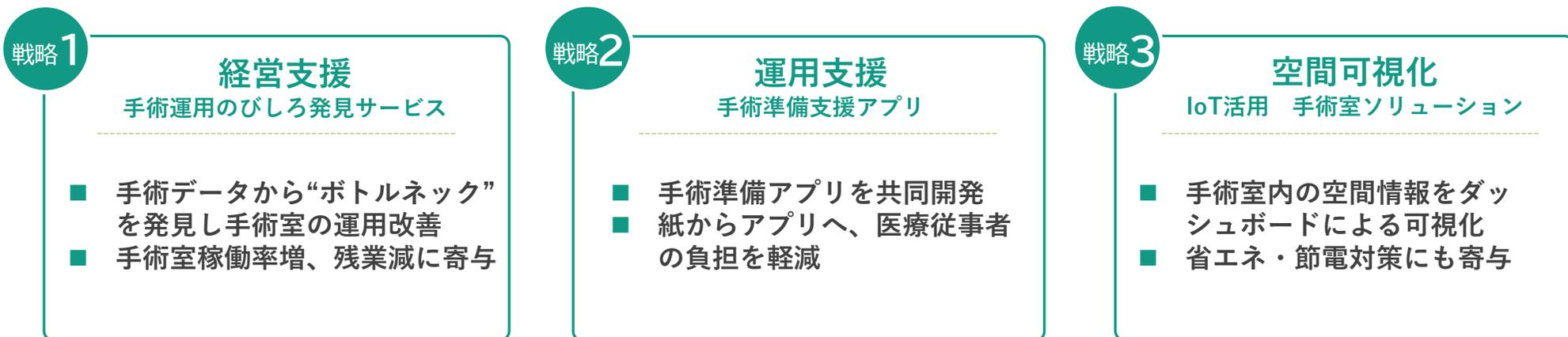
- 20年間で構成要素が大きく変化し、従来のPJルーチンだけではないTPPセグメント事業に
- リニューアルを得意とするキングランや家具メーカーなどを既にグループに



- 従来型の建替えPJをベースとし、特に成長分野であるリニューアル案件、ネットワークインフラ案件に経営資源を投入（PJ、ルーチンとして分類）



■ デジタルツールを活用し、手術部門の生産性を改善することにより、経営効率を高める



■ 健康を願う人・支える人、双方の信頼に応え、価値ある製品とサービスを提供

## 戦略1

### 入浴装置事業

- 継続的な新製品開発
- 浴槽だけでなく、浴室全体のコーディネート提案

# Lixy

Lift & Bath

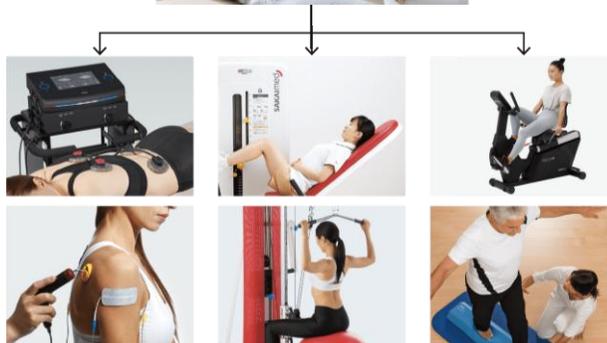
075-3819141 UK-130 UK-150M UK-120 UK-110 UK-100M UK-100  
075-3819171 UK-110M UK-110 UK-100M UK-100



## 戦略2

### リハビリテーション事業

- アクティブリハをコンセプトとした整形外科領域での展開
- 身体機能を高めるため、複合的アプローチを提供



## 戦略3

### 事業領域の拡大

- リノベーション提案強化（浴室改修、空調工事など）
- 東・東南アジア市場へ、ノウハウや製品輸出を目指す



Rehabilitation Room



## ■ SHIP VISION 2030達成に向けた重点アクションプラン



### リニューアル領域の充実

- ✓ 近年需要が高まっているリニューアル案件にも経営資源を投入



### 人的資本

- ✓ 新たにWell-Being推進室を発足
- ✓ 各社の人的資本データを可視化・活用推進



### IT開発・整備

- ✓ SIP・コンパスボード・Alr Supplyとの連動
- ✓ 病院台帳システムの整備



戦略的イノベーション創造プログラム

生命を守る人の環境づくり



**参考資料**  
**< 財務・資本戦略 >**

# 株主還元

		2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3 (予)
1株当たり 配当 (円)	普通配当	28	32	35	37.5	40	41 (注)	42	45	58	60
	記念配当	2	-	-	-	-	-	-	5	-	-
	合計	30	32	35	37.5	40	41	42	50	58	60
配当金総額 (百万円)		3,035	3,238	3,334	3,556	3,774	3,868	3,962	4,717	5,472	5,521
連結配当性向		32.2	31.3	30.7	30.2	30.8	31.8	32.8	34.2	36.2	36.0

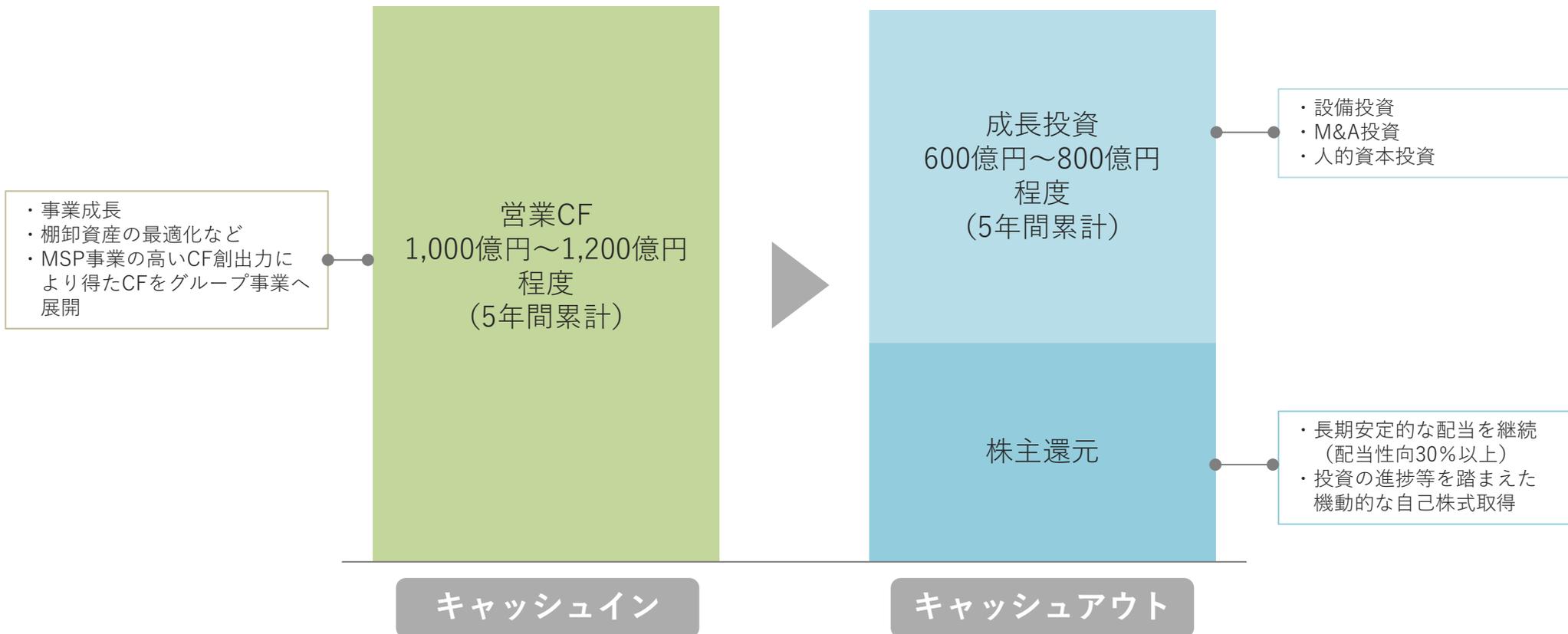
(注) 当社は、2021年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期以前の数値につきましても、当該株式分割が2017年3月期以前に実施されたと仮定した数字としております。

9期連続増配を達成

連結配当性向 30% 以上

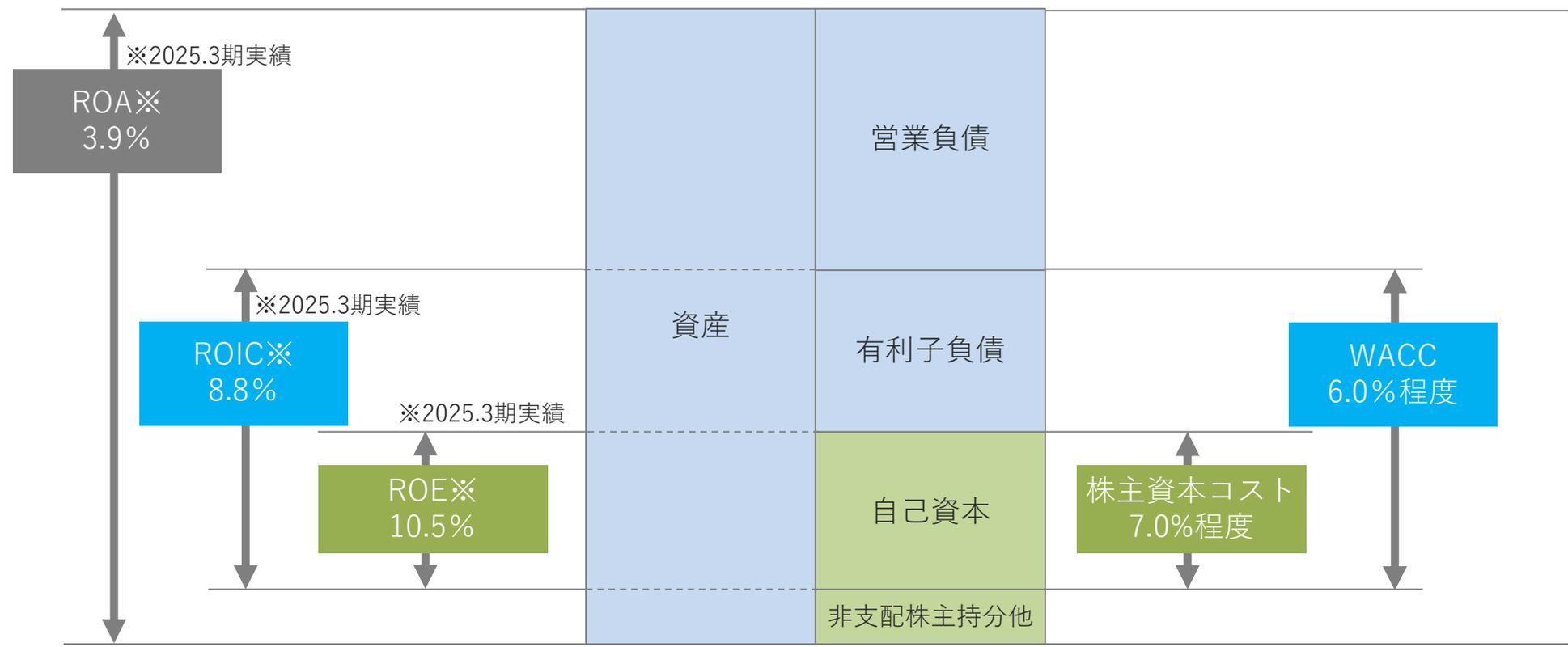
# キャピタルアロケーション

- 営業キャッシュ・フローを基礎として創出される資金で成長投資を行い、企業価値を拡大



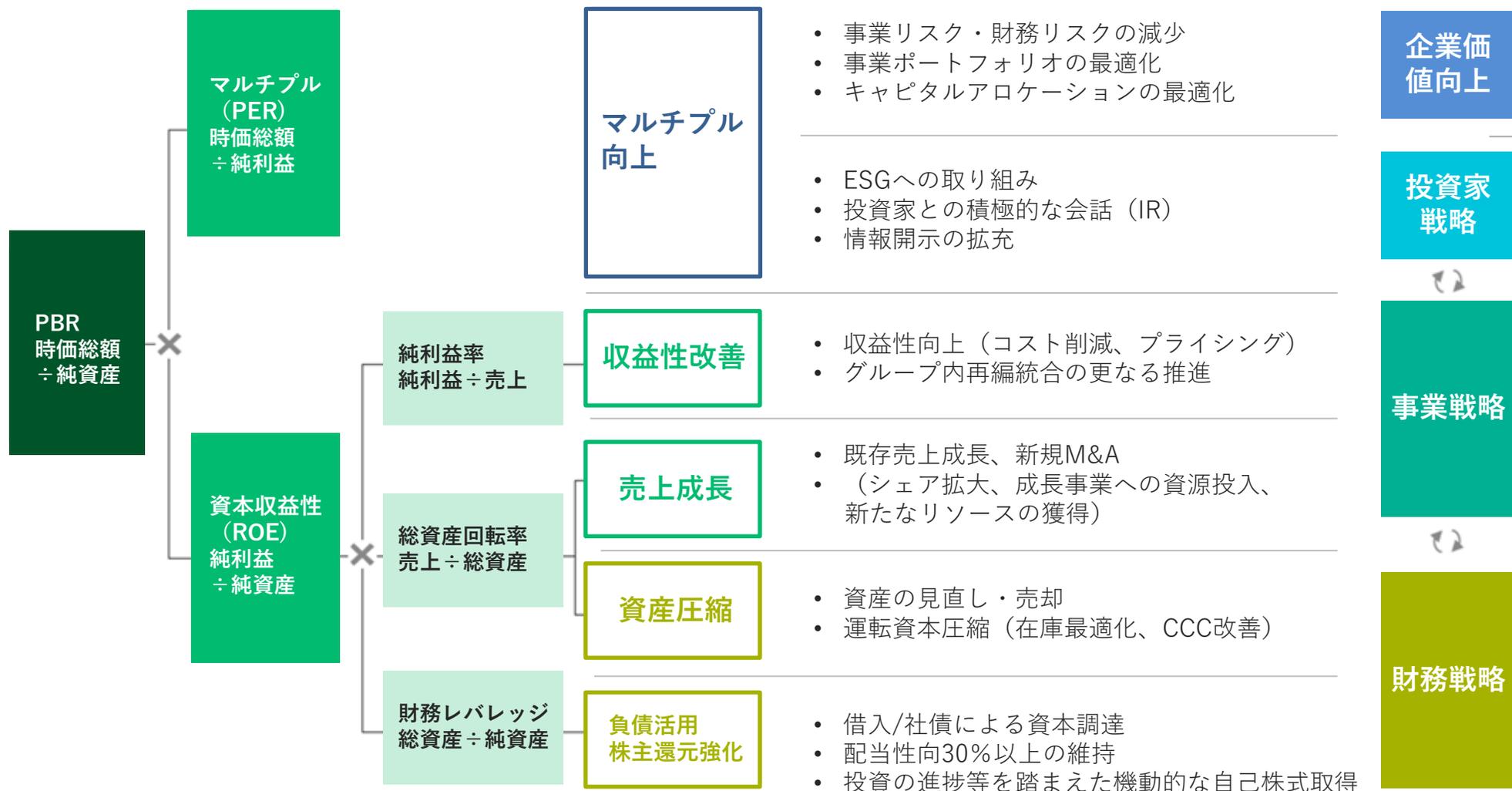
# 資本コストや株価を意識した経営

- セグメント毎の資産効率にバラつきがあることは認識
- 株主資本コストを上回るROE12%を目標指標とする



# 資本コストや株価を意識した経営

■ ROE12%目標かつ各種施策によりマルチプル向上を図る



# お問合せ窓口



## 「ONE SHIP」マーク

追い風を受け前進する帆を表したSのかたちは、  
いかなる時でも目標を目指し航海をつづける  
SHIP理念を表象しています。

「ONE SHIP」は、  
社会要請という強い風を受け、  
ヘルスケアの未来という光を映しながら  
社会の荒波を航海する一艘の船を表しており、  
シップヘルスケアグループの結束を象徴しています。

- I R 窓口：経営企画部
- 電話番号：06-6369-0130
- メールアドレス：ir-info3360@shiphd.co.jp
- ホームページ：<https://www.shiphd.co.jp/>

本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。

**MEMO**